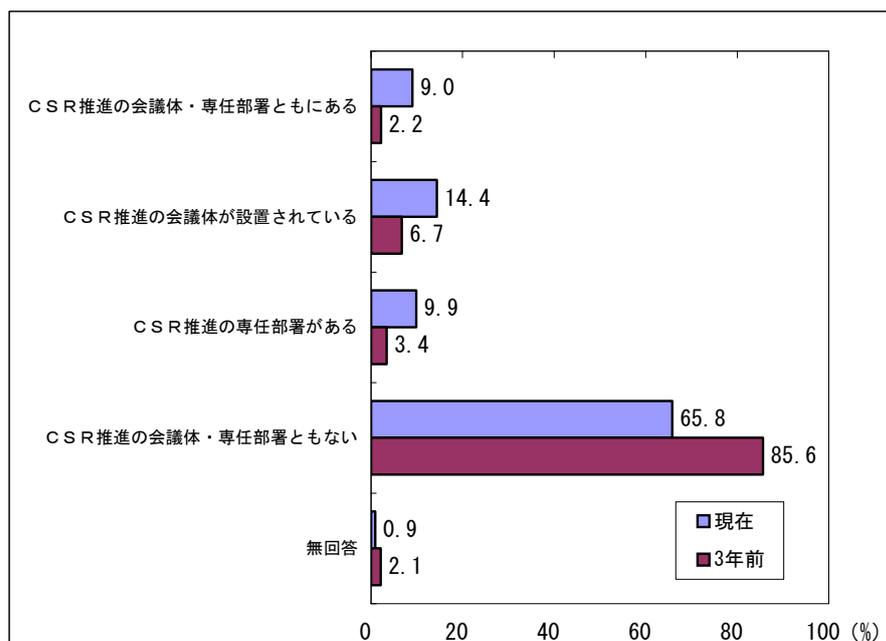


Ⅲ. CSR・SRIのあり方

1. CSR・SRIの広まり状況

上場企業のCSR推進への取組状況を見ると、近年、CSR推進の会議体や専任部署を置く企業が増えている。しかし、「CSR推進の会議体・専任部署ともない」の割合は85.6%(2004年)から65.8%(2007年)へと低下しているものの、依然高水準である。

(図表 3-24) 上場企業のCSR推進への取組状況

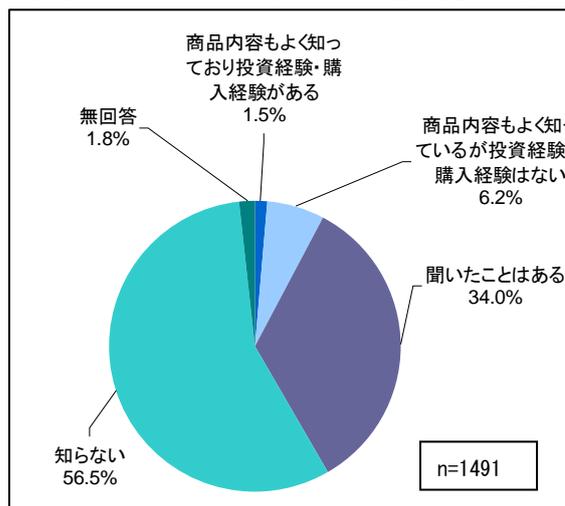


(出所) 内閣府委託調査(株式会社野村総合研究所実施)「新たな成長に向けた日本型市場システム・企業ガバナンスのあり方についての調査・研究」(2007)

一般の人々のSRIファンドに対する認知度(首都圏在住の50代、60代の男女対象)を見ると、「商品内容もよく知っており、投資経験・購入経験がある」が1.5%、「商品内容もよく知っているが投資経験や購入経験はない」が6.2%となっている。「聞いたことはある」64.0%を含めても、認知度は全体の約4割に留まっている。

投資の専門家であるファンドマネージャーのSRIに対する普及予測を見ると、肯定的な人の割合は2004年の58.8%から2007年には10.4%上昇し、69.2%となっているが、否定的な予測を立てた人も3割程度存在している。

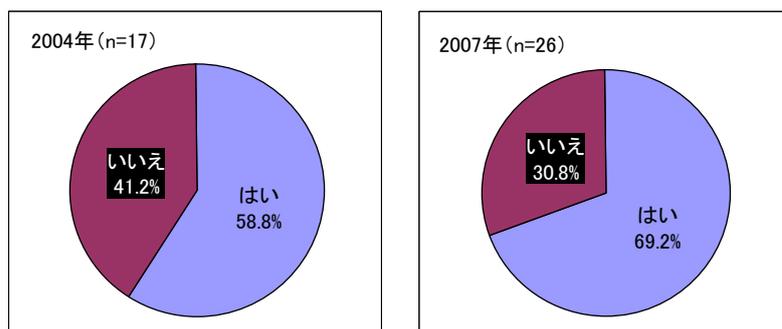
(図表3-25) S R I ファンドの認知度 (首都圏在住の50代、60代の男女対象)



(出所) 内閣府委託調査 (株式会社野村総合研究所実施) 「高齢者の金融資産の有効活用及び社会的責任投資等への資金流入の可能性に関する調査」 (2005年)

※調査対象は首都圏 (東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) 在住の50代、60代の男女。回答は一つのみ選択可能。

(図表 3-26) S R I の普及予測 (証券会社調査部門及び機関投資家対象)



(出所) 大和インベスター・リレーションズ(株)「社会的責任投資 (S R I) の日本企業への影響」 (2004・2007)

※調査対象は日本国内の主要な日系・外資系証券会社調査部門及び機関投資家で、回答は「今後、日本で S R I は普及すると思いますか」という問に対するもの。

2. 欧米における C S R に関する制度的な取り組み

国際機関等における C S R に関する制度面での取り組みとしては、以下が行われている。

欧州委員会

- 2006年3月 “Implementing the Partnership for Growth and Jobs: Making Europe a pole of excellence on CSR” と題された通達を発表
- ・リスボン戦略の改定後に公表された欧州委員会の新たなコミュニケーション
 - ・欧州における C S R の進展を継続的にレビューするため、フォーラムの定期開催を提唱

- 2006年12月 「欧州マルチステークホルダー・フォーラム・レビュー会合」の開催
 ・各ステークホルダー、各国政府、欧州委員会の取組のレビューを実施し、報告書の勧告項目に従い269件の取組を紹介
 ・ただし、労働組合及び市民団体の多くはレビュー会合をボイコット
 ・次回レビュー会合は2008年中に開催予定
- 2007年3月 欧州議会決議（フォーラム最終報告書の尊重、特に、法的枠組の整備の必要性に言及した第3部第7章を尊重することを決議）

グローバル・レポーティング・イニシアチブ

- 2006年10月 GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドラインの第3版が発行
 また、GRIと国連のコフィ・アナン事務総長がトップを勤める、国連グローバル・コンパクトと提携

国際標準化機構（ISO）

- 2005年3月 ブラジル・サルバドールにてバンコクにてSR（社会的責任）に関するワーキンググループ（WG）第1回総会
- 2005年9月 バンコクにて第2回総会（ISO26000の設計仕様書を採択）
- 2006年5月 リスボンにて第3回総会（規格の適用範囲には、日本産業界が求めてきた「あらゆる組織に適用される」「マネジメントシステム規格ではない」「適合性評価や認証目的に用いられることには適さない」などの前提条件が明文化）また、【SRの暫定定義】が次のように決定

組織の活動が社会と環境に与える影響について、組織が責任を果たすための行動。これらの行動は、社会の関心および持続的発展と調和し、倫理的な行動、法令遵守、政府間文書に基礎を置き、組織の継続した行動に組み込まれる。

- 2007年1月 シドニーにて第4回総会を開催（今後の作業のための主要論点の整理）
- 11月 ウィーンにて第5回総会を開催（作業文書の起草プロセス効率化、草稿の一貫性と整合性確保のためにメンバーの中から総合的に起草に携わる22名のメンバーが起草チーム（IDTF、Integrated Drafting Task Force）として選ばれた）
- 2010年4月 第8回総会開催予定（最終国際規格案の準備（同年中の発行予定））
 国際機関の動向に加え、各国のCSR関連基準・規格を整理したものが次表である。

(図表 3-27) 主なCSR関連のガイドライン

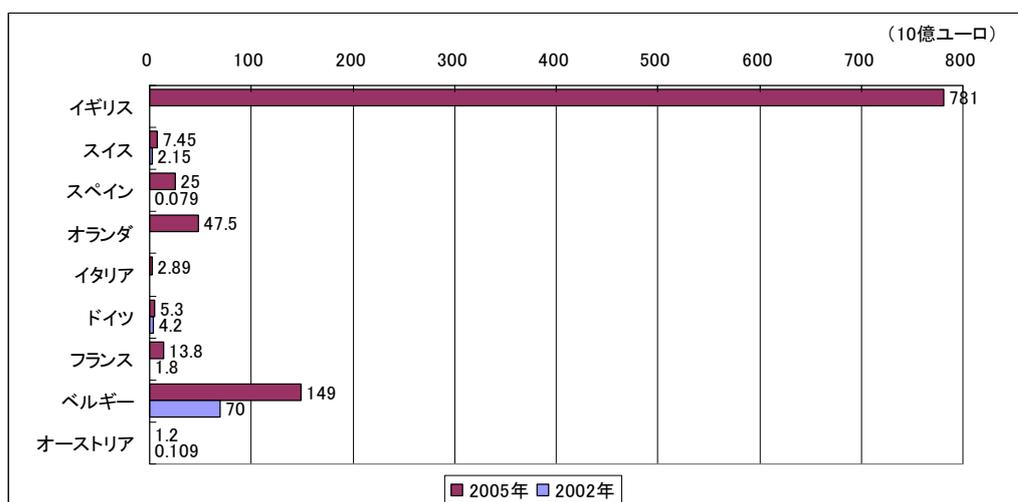
名称	発行	概要
EU Green Paper (欧州委員会)	2001年	欧州委員会によるグリーンペーパー「欧州のCSR枠組みの促進」
Communication from the Commission (欧州委員会)	2002年発行 2006年改定	EUのCSRの普及に向け行動方針を示す通達
The Global Compact (国際連合)	2000年	グローバリゼーションがもたらす様々な弊害を解決するとともに責任ある企業行動を国際的に推し進めることを目的に、1999年の世界経済会議(World Economic Forum)で国連事務総長によって提案された、人権、労働、環境分野における9つの企業の自主行動原則
多国籍企業ガイドライン (経済協力開発機構(OECD))	1976年発行 2000年改定	加盟国政府が多国籍企業に対して、一定の行動の在り方を勧告する指針
GRI(Global Reporting Initiative)ガイドライン (米環境NPO・CERES(環境に責任を持つ経済のための連合)と国連環境計画(UNEP)の合同事業)	2000年発行 2002年改定	CSRの取り組みに関する報告書作成のためのガイドライン。多国籍企業に共通する指標を提供。現在、2006年の改訂に向けた準備を進めている。
SA(Social Accountability)8000 (米国・SocialAccountabilityInternational(SAI))	1998年	労働環境に関する社会的責任の強化を目的とする国際規格
AA(AccountAbility)1000保証規格 (英国・AccountAbility(ISEA、社会倫理説明責任研究所))	1999年	持続可能な開発に対するアカウンタビリティ(説明責任)の規格。企業の持続可能性報告書の検証プロセスに対する世界初のガイドライン
コーポラ卓会議の企業行動指針 (The Caux Roundtable)	1994年	日欧米の民間企業経営者が協働で策定した初めての企業行動指針

(出所) 各公式ウェブサイト

3. 各国のSRI残高の比較、投資主体別内訳

ヨーロッパにおけるSRIの残高を見ると、イギリスが7810億ユーロと最も多く、2005年時点のヨーロッパ全体の残高(1兆330億ユーロ(2005年現在 Eurosis調べ))の76%を占めている。その次に多いのはベルギーで2002年に比べて2倍以上の1490億ユーロである。その他の国も2002年に比べ上昇傾向にあるが、イギリスとの間には大きな開きが見られる。

(図表 3-28) ヨーロッパにおけるSRI投資残高(単位:10億ユーロ)

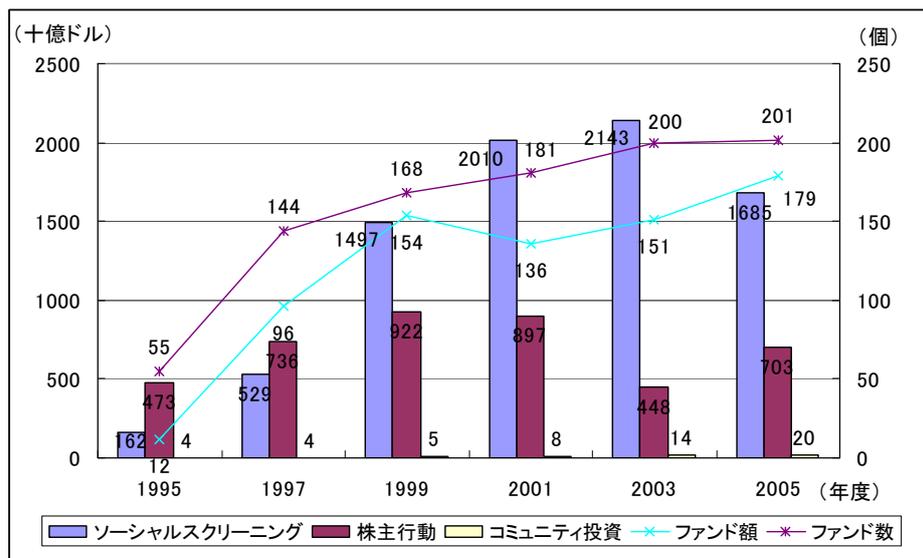


(出所) Eurosis 「European SRI Study 2006」(2006)より作成

※EurosisではSRIを「core SRI」と、その他の分類も含む広義の「broad SRI」に分けて定義しており、上記グラフは後者の定義をもとに作成した。イギリス、オランダ、イタリアの2002年時点のデータについては出所資料に明記されていなかった。

アメリカでは、2005年現在、SRI残高が約2兆3,000億ドルとなっている。隔年でSRI額を調査しているソーシャルインベストメントフォーラム(SIF)では、SRIを、ソーシャル・スクリーニング、株主行動、そしてコミュニティ投資の大きく3つに分けて集計している。なかでも、ソーシャル・スクリーニングはSRI額の中で最も大きな比重を占めているが、最近10年間で急増しており、2005年は2003年より減っているものの、SRI全体の73.6%に至っている。ソーシャル・スクリーニングにおける機関投資家の内訳を見ると、公的年金が80.8%、次いで企業が9.2%となっている。

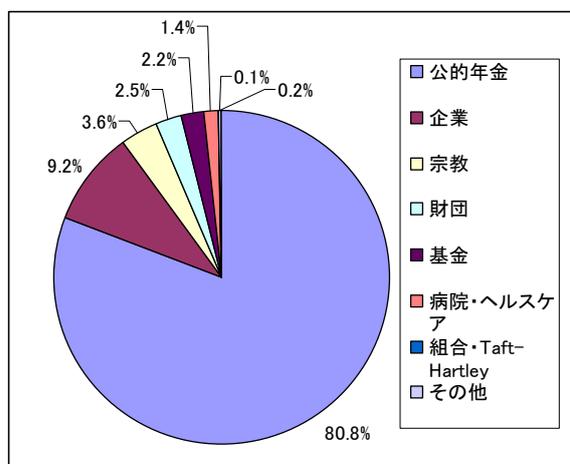
(図表3-29) アメリカにおけるSRIの推移 (単位:10億ドル、個)



※ソーシャル・スクリーニングと株主行動は重複する部分があるが、その額 (単位:10 億ドル) は1997 年84、1999 年265、2001 年592、2003 年441、2005 年117 である。

(出所) SOCIAL INVESTMENT FORUM 「2005 Report on Socially Responsible Investing Trends in the United States 10-YEAR REVIEW」 (2005)

(図表3-30) ソーシャル・スクリーニングにおける機関投資家の内訳



(出所) SOCIAL INVESTMENT FORUM 「2005 Report on Socially Responsible Investing Trends in the United States 10-YEAR REVIEW」 (2005)

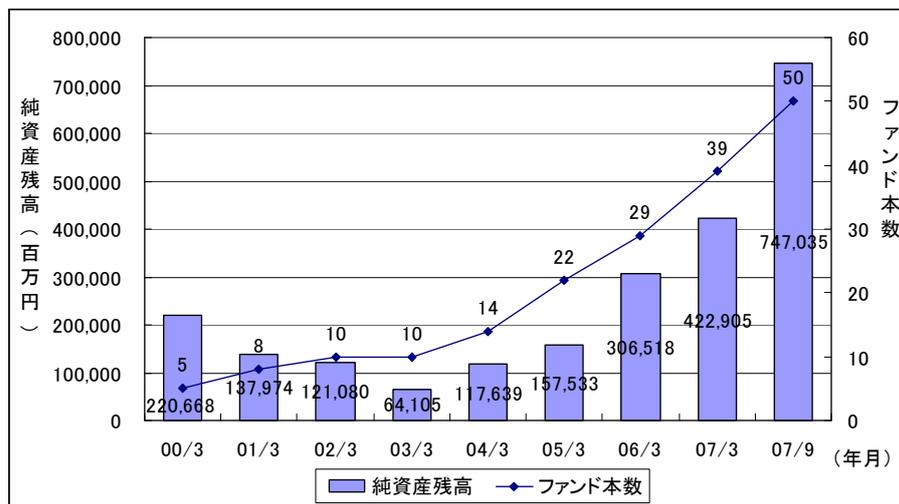
4. 日本のSRI型投資信託の現状

日本で最初の公募SRI投信は、1999年8月に日興アセットマネジメント社が設定した環境についての評価基準を持つ国内株式型投信「日興エコファンド」であった。その後、いわゆる「エコファンド」に加え、2000年9月には、朝日ライフアセットマネジメント社が環境だけではなく、雇用、顧客対応、市民社会貢献、企業倫理・法令遵守なども評価基準とした国内株式型投信「朝日ライフSRI社会貢献ファンド（あすのはね）」を設定するなど、様々な公募SRI投信が設定され、残高は2000年3月末に2,207億円程度まで増加した。

株式市場の低迷により、01～03年度は伸び悩んだものの、04年度以降は株式市場の回復とともに増勢を強め、残高も2007年3月末には4,229億円まで増加した。

現在の日本の公募SRI投信は、2007年9月末で50本7,470億円である。最近の増加は、海外株式を組み込んだ国際株式型が人気化したことが背景としてある（2007年9月末で12本3,788億円）。

(図表 3-31) 公募SRI投信の純資産残高とファンド本数推移



(出所) NPO 法人社会的責任投資フォーラム「日本SRI年報2007 SIF-Japan 編」(2007)

(図表 3-32) 公募SRI投信一覧 (2007年9月末) (百万円)

設定年月日	ファンド名称	ファンド愛称	運用会社	ファンド形態	評価項目	純資産	調査・助言
1 1999/8/20	日興エコファンド		日興アセットマネジメント	国内株式型	環境	33,276	グッドバンカー
2 1999/9/30	損保ジャパン・グリーン・オープン	ぶなの森	損保ジャパン・アセットマネジメント	国内株式型	環境	23,446	損保ジャパン・リスクリスクマネジメント
3 1999/10/29	エコ・ファンド		興銀第一ライフ・アセットマネジメント	国内株式型	環境	5,172	グッドバンカー
4 1999/10/29	UBS日本株式エコ・ファンド	エコ博士	UBSグローバル・アセットマネジメント	国内株式型	環境	2,738	日本総合研究所
5 2000/1/28	エコ・パートナーズ	みどりの翼	三菱UFJ投信	国内株式型	環境	2,464	三菱UFJリサーチ&コンサルティング
6 2000/9/28	朝日ライフSRI社会貢献ファンド	あすのはね	朝日ライフアセットマネジメント	国内株式型	CSR	4,814	ヴィジオ・ベルギー
7 2000/11/17	日興グローバル・サステナビリティ・ファンドA(ヘッジなし)	globe	日興アセットマネジメント	国際株式型	CSR	974	Sustainable Asset Management
8 2000/11/17	日興グローバル・サステナビリティ・ファンドB(ヘッジあり)	globe	日興アセットマネジメント	国際株式型	CSR	466	Sustainable Asset Management
9 2001/6/15	グローバル・エコ・グロース・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	Mrsグリーン	大和住銀投信投資顧問	国際株式型	環境	1,274	T.ロウ・プライス・グローバルアセット・マネジメント
10 2001/6/15	グローバル・エコ・グロース・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	Mrsグリーン	大和住銀投信投資顧問	国際株式型	環境	2,490	T.ロウ・プライス・グローバルアセット・マネジメント
11 2003/11/7	UBSグローバル株式 40		UBSグローバル・アセットマネジメント	国際株式型	CSR	3,663	UBS AG
12 2003/12/26	住信SRI・ジャパン・オープン	グッドカンパニー	住信アセットマネジメント	国内株式型	CSR	47,713	日本総合研究所
13 2004/3/26	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)		野村アセットマネジメント	国際株式型	環境	14,288	ピクテアセットマネジメントほか
14 2004/3/26	ワールド・ウォーター・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)		野村アセットマネジメント	国際株式型	環境	86,160	ピクテアセットマネジメントほか
15 2004/4/27	フコクSRI(社会的責任投資)ファンド		しんきんアセットマネジメント投信	国内株式型	CSR	4,109	富国生命投資顧問、パブリックリソースセンター
16 2004/5/20	ダイワSRIファンド		大和証券投資信託委託	国内株式型	CSR	8,735	インテグレックス
17 2004/5/28	野村グローバルSRI100	野村世界社会的責任投資	野村アセットマネジメント	国際株式型	CSR	4,778	FTSE4Good Global100 Index
18 2004/7/30	モーニングスターSRIインデックス・オープン	つながり	野村アセットマネジメント	国内株式型	CSR	2,470	モーニングスター社会的責任投資株式価値指数
19 2004/12/3	三菱UFJ SRIファンド	ファミリー・フレンドリー	三菱UFJ投信	国内株式型	雇用	4,189	グッドバンカー
20 2005/3/18	AIG-SAIKYO日本株式CSRファンド	すいれん	AIG投信投資顧問	国内株式型	CSR	3,014	Institutional Shareholder Services
21 2005/3/18	AIG/リそな日本株式CSRファンド	誠実の社	AIG投信投資顧問	国内株式型	CSR	12,650	Institutional Shareholder Services
22 2005/3/25	損保ジャパン・SRIオープン	未来のちから	損保ジャパン・アセットマネジメント	国内株式型	CSR	1,731	パブリックリソースセンター
23 2005/4/28	AIG/ひろぎん日本株式CSRファンド	クラスG	AIG投信投資顧問	国内株式型	CSR	622	Institutional Shareholder Services
24 2005/8/12	日本SRIオープン	絆	日本投信委託	国内株式型	CSR	2,082	富国生命投資顧問
25 2005/11/11	アジアSRIファンド		コメルツ投信投資顧問	国際株式型	CSR	98	モーニングスターアセットマネジメント
26 2005/12/22	DIAM高格付インカム・オープンSRI(毎月決算コース)	ハッピークローバーSRI	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	国際ハイブリット型	CSR	1,527	インテグレックス
27 2006/3/9	ダイワ・エコ・ファンド		大和証券投資信託委託	国内株式型	環境	60,335	日本総合研究所
28 2006/3/14	6資産バランスファンド(分配型)	ダブルウィング	大和証券投資信託委託	国際ハイブリット型	CSR	49,100	oekom reserch AG,日本総合研究所
29 2006/3/14	6資産バランスファンド(成長型)	ダブルウィング	大和証券投資信託委託	国際ハイブリット型	CSR	30,800	oekom reserch AG,日本総合研究所
30 2006/5/26	自然環境保護ファンド	尾瀬紀行	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	国際ハイブリット型	CSR	4,867	インテグレックス
31 2006/6/12	住信日本株式SRIファンド		住信アセットマネジメント	国内株式型	CSR	7,114	日本総合研究所
32 2006/6/28	世界6資産均等分配ファンド(毎月分配型)	ベストシックス	大和証券投資信託委託	国際ハイブリット型	CSR	27,100	oekom reserch AG,日本総合研究所
33 2006/6/30	リそな・SGウーマンJファンド	Love Me!PREMIUM	ソシエテジェネラルアセットマネジメント	国内株式型	ウーマノミクス	2,088	—
34 2006/6/30	地球温暖化防止関連株ファンド	地球力	新光投信	国際株式型	環境	11,438	KLD global Climate 100 Index
35 2006/9/27	ししがきんSRI三資産バランス・オープン(奇数月分配型)	OHみらい	大和証券投資信託委託	国際ハイブリット型	CSR	930	インテグレックス
36 2006/11/30	三井トラスト社会的責任投資ファンド	SRI計画	中央三井アセットマネジメント	国内株式型	CSR	1,575	インテグレックス
37 2006/12/8	しんきんSRIファンド		しんきんアセットマネジメント	国内株式型	CSR	709	富国生命投資顧問
38 2007/1/19	SGウーマノミクスバランス株式30(毎月分配)	KIRARIきらりAコース	ソシエテジェネラルアセットマネジメント	国際ハイブリット型	ウーマノミクス	2,688	—
39 2007/1/19	SGウーマノミクスバランス株式70(積極成長)	KIRARIきらりBコース	ソシエテジェネラルアセットマネジメント	国内ハイブリット型	ウーマノミクス	2,076	—
40 2007/6/15	グローバルウォーターファンド		日興アセットマネジメント	国際株式型	環境	4,763	Sustainable Asset Management
41 2007/6/29	ニュージェネレーション世界環境	水と太陽	ユナイテッド投信投資顧問	国際株式型	環境	341	ニュージェネレーション指数
42 2007/7/25	地球温暖化防止関連株ファンド(3ヶ月決算型)	地球力II	新光投信	国際株式型	環境	5,653	KLD global Climate 100 Index
43 2007/7/27	三菱UFJグローバル・エコ・ウォーター	ブルーゴールド	三菱UFJ投信	国際株式型	環境	64,930	KBCアセット・マネジメント・エヌバイ
44 2007/8/29	野村アクア投資Aコース(為替ヘッジあり)		野村アセットマネジメント	国際株式型	環境	3,719	SAMサステナブル・アセット・マネジメントA・G
45 2007/8/29	野村アクア投資Bコース(為替ヘッジなし)		野村アセットマネジメント	国際株式型	環境	113,400	SAMサステナブル・アセット・マネジメントA・G
46 2007/8/31	UBS地球温暖化対応関連株ファンド	クールアース	UBSグローバル・アセットマネジメント	国際株式型	環境	61,674	社内専門家委員会、Innovest.ecos
47 2007/8/31	温暖化対策株式オープン	グリーン・プラネット	国際投信投資顧問	国際株式型	環境	11,728	シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
48 2007/8/31	地球温暖化対策株式オープン	地球愛	国際投信投資顧問	国際株式型	環境	740	シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
49 2007/8/31	地球環境株ファンド	環境くん	大和証券投資信託委託	国際株式型	環境	2,512	FTSE
50 2007/8/31	地球環境株・外積バランス・ファンド	環境くん	大和証券投資信託委託	国際ハイブリット型	環境	1,811	FTSE

(出所) NPO 法人社会的責任投資フォーラム「日本SRI年報2007 SIF-Japan編」(2007)